平成 24 年度　シラバス	学年・期間・区分	１年次 ・ 休暇中実施 ・ 選択
	対象学科・専攻	土木工学専攻
特 別 実 習 A （Advanced OJT A）	担当教員	土木工学専攻長
	教員室	土木工学専攻長に同じ
	E-Mail	土木工学専攻長に同じ
教育形態／単位の種別／単位数	実験・実習 ／ ――― ／ ４単位	
週あたりの学習時間と回数	4 週間（実習時間 150 時間〔実習（450 分）×20 日〕以上）	

〔本科目の目標〕　実社会での活動を体験すると共に，実習テーマに応じ，今まで学んだそれぞれの専門分野および関連分野の知識がどのように活かされているかを理解する。また，実習先の担当者の指導およびアドバイスを受けながら，専門知識の修得は勿論のこと，実社会での技術者としての心構えを体得する。さらに，将来進むべく進路の判断材料を，この実習を通じて修得する。

〔本科目の位置付け〕　各自が選択した実習テーマで，学校における授業とは異なった視点から現場学習を行う。この体験を将来の進路選択に活用する。就職以前に実社会の有り様を経験しておくことは，自分の選択した進路の現実と描いたイメージとのギャップに失望して進路変更せざるを得なくなることを防ぐと共に，その後の学習意欲の高揚に役立てる。

〔学習上の留意点〕　特別実習により実社会についての総合的な理解を深め，さらに専門的知識の修得の重要さを認識する。また，技術者として相手の立場に立って物事を考える必要性について，実社会での体験を通じて深める。　実習に先立ち行われる講習会には，必ず参加すること。また，実習後は成果報告会が開催される。実習内容に関して，事前に調査し，準備をしておくこと。

〔授業の内容〕

授　業　項　目	時限数	授業項目に対する達成目標
原則として、 協力企業に約 4 週間程度出向き、受入企業から提供される実習テーマに基づいて実習を行う。	4 週間	□ (1) 技術者としての社会的責任を自覚し、職業意識の向上を図る事ができる。 □ (2) 与えられた実習テーマに対し、これまでに学んだ専門的知識や現場での学習をもとに課題を解決し、まとめる能力を養う事ができる。 □ (3) 技術者が直面する産業社会での問題点や課題を理解する事ができる。 □ 土木工学専攻学生としての専門知識と関連知識の理解を深めると共に，将来進むべき実社会の実態を理解し，今後の進路決定の参考とする。

〔教科書〕　実習受け入れ先担当者の指導による文献・資料
〔参考書・補助教材〕　実習受け入れ先担当者の指導による文献・資料

〔成績評価の基準〕　プレゼンテーション(25%)＋レポート(15%)＋受け入れ機関担当者の評価(60%)

〔専攻科課程の学習・教育目標との関連〕　2-2 , 3-3 , 4-2
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕　2-2 , 3-3 , 4-2
〔JABEE との関連〕　(b) , (d)(2)c) , (d)(2)d)

Memo